

エコアクション 21
環境活動レポート

<2011 年度版>
(対象期間 2011 年 6 月～2012 年 5 月)

2012 年 6 月 1 日作成

株式会社 墨田電材社

目 次

1. 環境方針.....	P 2
2. 会社概要.....	P 3
3. 実施体制.....	P 5
4. 環境目標とその実績.....	P 6
5. 環境活動計画の取組結果とその評価、次年度の取組..	P 7
6. 年度別環境パフォーマンス実績.....	P 8
7. 環境への保全活動の取組結果の評価.....	P 12
8. 環境関連法規への違反、訴訟等の有無.....	P 12
9. 環境配慮製品・サービスの提供.....	P 13
10. 代表者による全体評価と見直し結果.....	P 13

1.環境方針

環 境 方 針

株式会社墨田電材社（以下「弊社」という）は、電設資材、制御機器を主体とした商社事業を営んでおり、人に優しく、町に優しい、企業理念の下、低炭素化社会に向けて環境を配慮した製品を流通し、情報を提供することを基本姿勢に、地球環境保全と持続可能な社会形成に貢献することを経営の重要課題として認識しています。

弊社は、環境関連法規等を遵守し、環境経営マネジメントシステム(EA21)を運営するなかで、次の環境行動指針を基本的方向と定め、これを全ての従業員に周知徹底させ全員で継続的環境負荷低減に取り組むことを宣言します。

【環境行動指針】

1. 二酸化炭素排出量削減

- ① 事務所・倉庫での電力使用量を削減します。
- ② 運送・営業車両での燃料使用量を削減します。

2. 廃棄物排出量削減

- ① 紙資源のリサイクルを促進します。
- ② 納品時における過大包装を中止し、梱包容器（ダンボール）・パッキング材料の再利用をします。

3. 総排水量削減

- ① 蛇口に節水こまを設置します。
- ② トイレの流水量を調節し、トイレ用水を節約します。

4. グリーン購入の推進

エコマーク製品や循環製品等の環境配慮の製品・サービスの購入に努めます。

5. 環境配慮製品・サービスの提供

環境保全型商品等の販売及び消費者に対する情報提供等に努めます。

6. 環境教育の充実

- ① 環境意識の向上を図るため、従業員を対象に定期的な環境教育を実施します。
- ② 各団体の主催する環境問題等のセミナーに積極的に参加し、常に最新の問題点を認識します。

この環境方針を全社員に周知し、一般にも公開します。

2010年6月1日

株式会社墨田電材社
代表取締役 鈴木良昇 印

2.会社概要

2・1 事業所名及び代表者

株式会社墨田電材社

代表取締役社長 鈴木良昇

2・2 事業所の所在地及び認証・登録範囲

事業所名	所在地	業務概要
本社	東京都墨田区京島一丁目 42 番 4 号	営業・業務・ 経理
倉庫	東京都墨田区京島一丁目 42 番 3 号	配送業務

2・3 環境管理責任者及び担当連絡先

環境管理責任者 鈴木麻友美

担当者 梶野隆宏

連絡先 電話 03-3619-0321 FAX 03-3611-5470

E-mail sumida.denzaisha@gol.com

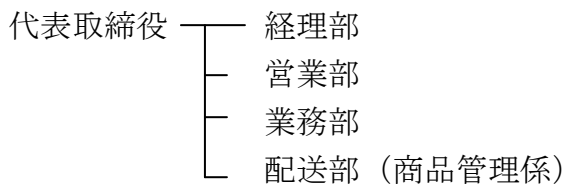
2・4 事業活動の概要

創業 1946年11月

会社設立 1956年10月

事業内容 電設資材（電気工事材料）制御機器 空調機器卸業

2・5 会社組織



2・6 事業の規模

資本金 1,000万円

売上高 平成23年度（平成23年6月1日～平成24年5月31日）34,000万円

従業員数 社員 10名

事業所の敷地・建屋面積

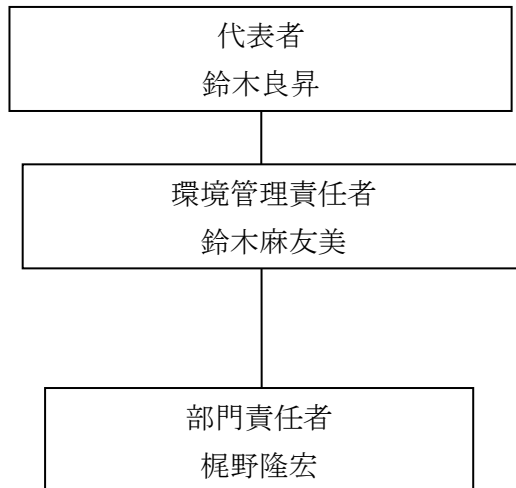
事業所名	敷地面積	建屋延べ床面積
本社	49.5平方m	165平方m
倉庫	33平方m	66平方m

2・7 施設等の状況（主な機械設備及び車両等）

普通トラック	1台
普通ワゴン車	2台
軽自動車（ワゴン車）	2台
パソコン	9台
サーバー	1基

3.実施体制

環境管理実施体制表



作成 2009/10/7

承認	作成
鈴木良昇	鈴木麻友美

役職	責任および権限
代表取締役社長	1. 環境管理責任者の任命 2. 環境方針の制定 3. 環境経営システムの実施および管理に必要な資源の準備 4. 環境経営システムの定期的見直しの実施 5. 社内情報の外部公開可否決定
環境管理責任者	1. 環境経営システムの確立、実施、維持、継続的改善 2. 社長への環境経営システムの実施状況報告 3. それぞれの業務・役割に応じ、必要な教育訓練を適切に計画・実施する 4. 環境関連法規の遵守確認
部門責任者	1. 環境経営システムの方針、実施計画を自部門で実施、維持、継続的改善する

(回覧ルート)

社長→部門責任者、環境管理責任者

4. 環境目標とその実績

環境目標	取組項目	基準値		2009年 12～2月	2009 年度	2010 年度	2011 年度
1. 二酸化炭素 排出量の削減	①電力使用量の削減 ②化石燃料使用量の削減	2008年度 実績 ①7429 ②17793 合計25222 Kg-CO2	目標	基準値の 1%削減 6242 Kg-CO2	同左 1%削減 24970 Kg-CO2	同左 2%削減 24718 Kg-CO2	同左 3%削減 24465 Kg-CO2
			実績	5466 Kg-CO2	21846 Kg-CO2	21167 Kg-CO2	19873 Kg-CO2
			達成	○	○	○	○
2. 廃棄物 排出量の削減	① 廃棄物のリサイクル促進 ② 最終廃棄物削減	総排出量 570.0Kg /年	目標	基準値に対し1%削減 141Kg	同左 1%削減 564.3Kg /年	同左 1.5%削減 561.5Kg /年	同左 2%削減 558.6Kg /年
			実績	120Kg	510Kg/ 年	480Kg/ 年	480Kg/ 年
			達成	○	○	○	○
3. 総排水量 の削減	生活用水の節水 に努める	水道使用 量 93.6 m ³ /年	目標	基準値の 1%削減 23.2 m ³	同左 1%削減 92.7 m ³ /年	同左 1.5%削減 92.2 m ³ /年	同左 2%削減 91.7 m ³ /年
			実績	19.5 m ³	72 m ³ /年	69 m ³ /年	67 m ³ /年
			達成	○	○	○	○
4. グリーン購 入の推進	環境配慮製品の 購入の促進・情 報の収集	新規のた め実績な し	目標	新規のため 実績なし	新規の ため実 績なし	3項目	3項目
			実績	〃	〃	4項目	3項目
			達成	〃	〃	○	○
5. 環境配慮製 品・サービ スの提供	環境配慮製品の 顧客への提供・情 報の収集	年2回	目標	1回以上	年2回以 上	年2回以 上	年2回以 上
			実績	1回	2回	2回	2回
			達成	○	○	○	○

6. 環境教育の推進	① 常に環境関連の商品知識習得に努める ② 展示会見学への積極的な参加	年2回	目標	1回以上	年2回以上	年2回以上	年2回以上
			実績	1回	2回	6回	6回
			達成	○	○	○	○

【購入電力の排出係数について】

「0.378 Kg-CO2/Kwh」を使用しております。

5. 環境活動計画の取組結果とその評価、次年度の取組

目標 項番	取組項目	具体的活動内容	実施 部門	取組結果の評価	次年度(2012年) の取組
1.	①電力使用量の削減	<ul style="list-style-type: none"> ・ スイッチプレートに節電担当者名を表示 ・ 退室時消灯を徹底 ・ 退社時の電源確認を徹底 ・ 空調の適正温度管理 	全部門	<ul style="list-style-type: none"> ・ 節電機能の高い空調機器に交換したため、電力使用量が減少した ・ 2010年度より152kwh/月減少した 	続けて徹底していく
	②化石燃料使用量の削減	<ul style="list-style-type: none"> ・ エコドライブ 10か条の徹底 	配送部	<ul style="list-style-type: none"> ・ 配達ルート効率性を計った結果、化石燃料使用量が減少した ・ 2010年度より21.6L/月減少した 	続けてエコドライブ10か条を徹底
2.	廃棄物排出量の削減 ① 廃棄物のリサイクル促進 ② 最終廃棄物削減	<ul style="list-style-type: none"> ・ 使用済み紙の裏面利用の促進 ・ 段ボール等梱包材の再利用促進 ・ 「コピー用紙・FAX用紙再利用BOX」を設置し、使用紙をシュレッダー後梱包材として再利用 	全部門	<ul style="list-style-type: none"> ・ 廃棄物総排出量は、2010年度と横ばいであった ・ 目標値はクリアした 	さらに減少に努める
3.	総排水量の削減 生活水の節水に努める	<ul style="list-style-type: none"> ・ 蛇口に節水弁をつける ・ 雨水利用を考える 	全部門	<ul style="list-style-type: none"> ・ 節水用の便器に交換したため、総排水量が減少した ・ 2010年度より2 m³/年減少した 	雨水利用についても考える

4.	グリーン購入の推進 環境配慮製品の購入の促進・情報の収集	<ul style="list-style-type: none"> メーカー及び仕入先と情報交換し、エコマーク製品・循環製品・サービスの購入に努める 	全部門	<ul style="list-style-type: none"> 昨年に引き続き、エコ電線、LED、節電エコキーパーの取り扱い、グロー式・レジット式照明器具からインバーター式照明器具への移行推進に努めた 	さらにエコマーク製品・循環製品・サービスの購入の項目を増やす
5.	環境配慮製品・サービスの提供 環境配慮製品の顧客への提供・情報の収集	<ul style="list-style-type: none"> お客様にエコマーク製品・循環製品・サービスを提供する機会を設ける 	全部門	<ul style="list-style-type: none"> メーカー主催の節電機能の高い空調機器・防犯機器の勉強会にお客様と共に参加し、環境配慮製品の購入促進・情報収集に努めた 	次世代照明器具・エコカーの商品についても勉強をし、購入・提供ができるよう努める
6.	環境教育の推進 ① 常に環境関連の商品知識習得に努める ② 展示会見学への積極的な参加	<ul style="list-style-type: none"> 日常業務の中での教育徹底 各自の環境についての考えを聞く機会をつくる 	全部門	<ul style="list-style-type: none"> 環境コミュニケーション・シンポジウムや節電テクニックなどの様々な勉強会に参加し、積極的に環境知識習得に努めた 	今後も積極的に勉強会・展示会に参加する

6. 年度別環境パフォーマンス実績

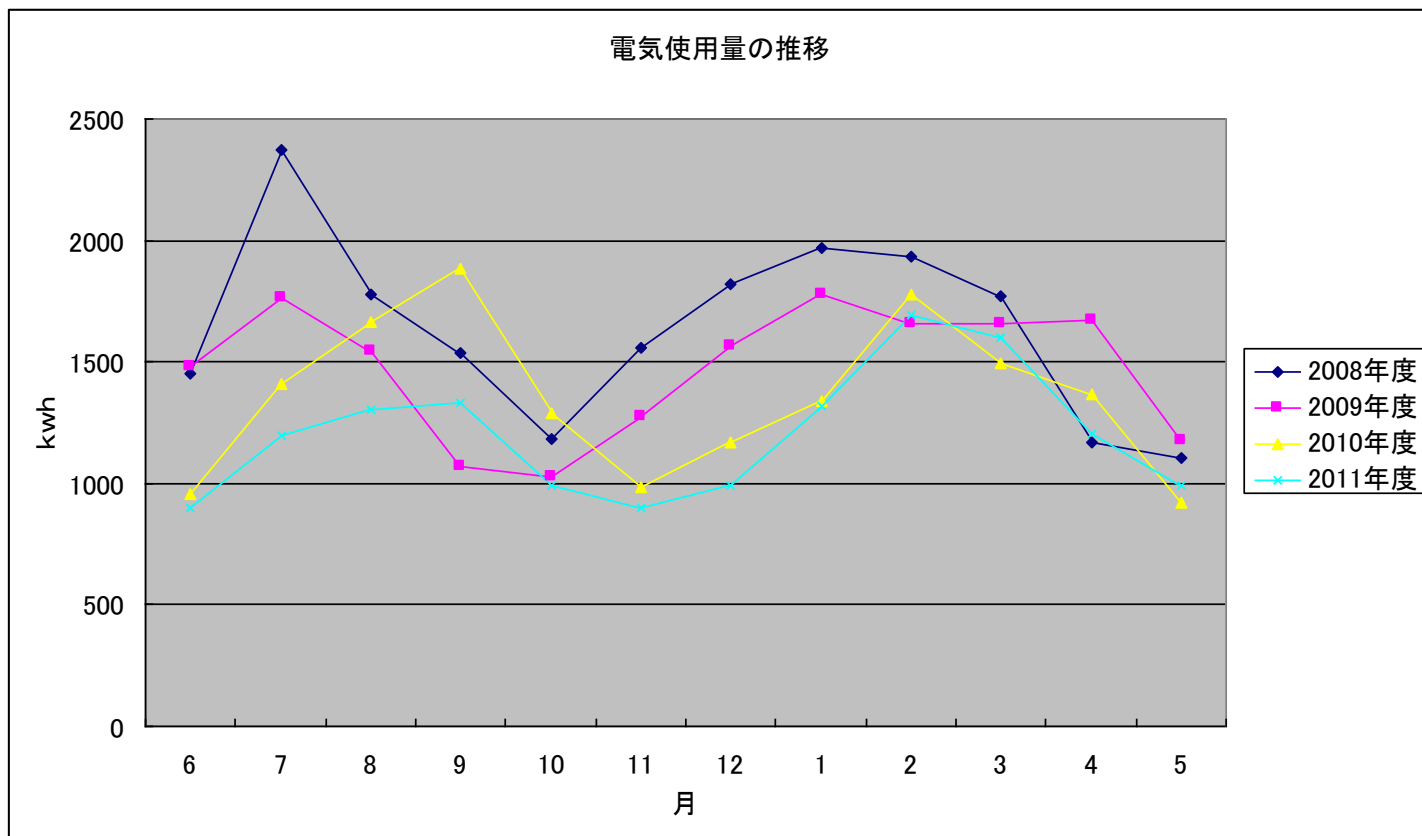
項目	2008年度	2009年度	2010年度	2011年度
① 電気使用量	1638kwh/月	1472kwh/月	1354kwh/月	1202kwh/月
② ガソリン使用量	638 L/月	545 L/月	539 L/月	518 L/月
③ 水使用量	15.6 m ³ /2ヶ月	12 m ³ /2ヶ月	11.5 m ³ /2ヶ月	11 m ³ /2ヶ月

<電気使用量の推移>

作成日：平成24年5月10日

月	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5
2008年度	1452	2375	1779	1535	1184	1560	1823	1970	1930	1771	1167	1107
2009年度	1483	1764	1542	1071	1024	1277	1562	1780	1654	1654	1673	1178
2010年度	953	1406	1666	1883	1289	983	1171	1341	1776	1495	1365	918
2011年度	902	1198	1302	1332	989	898	995	1314	1690	1604	1205	992

電気使用量の推移

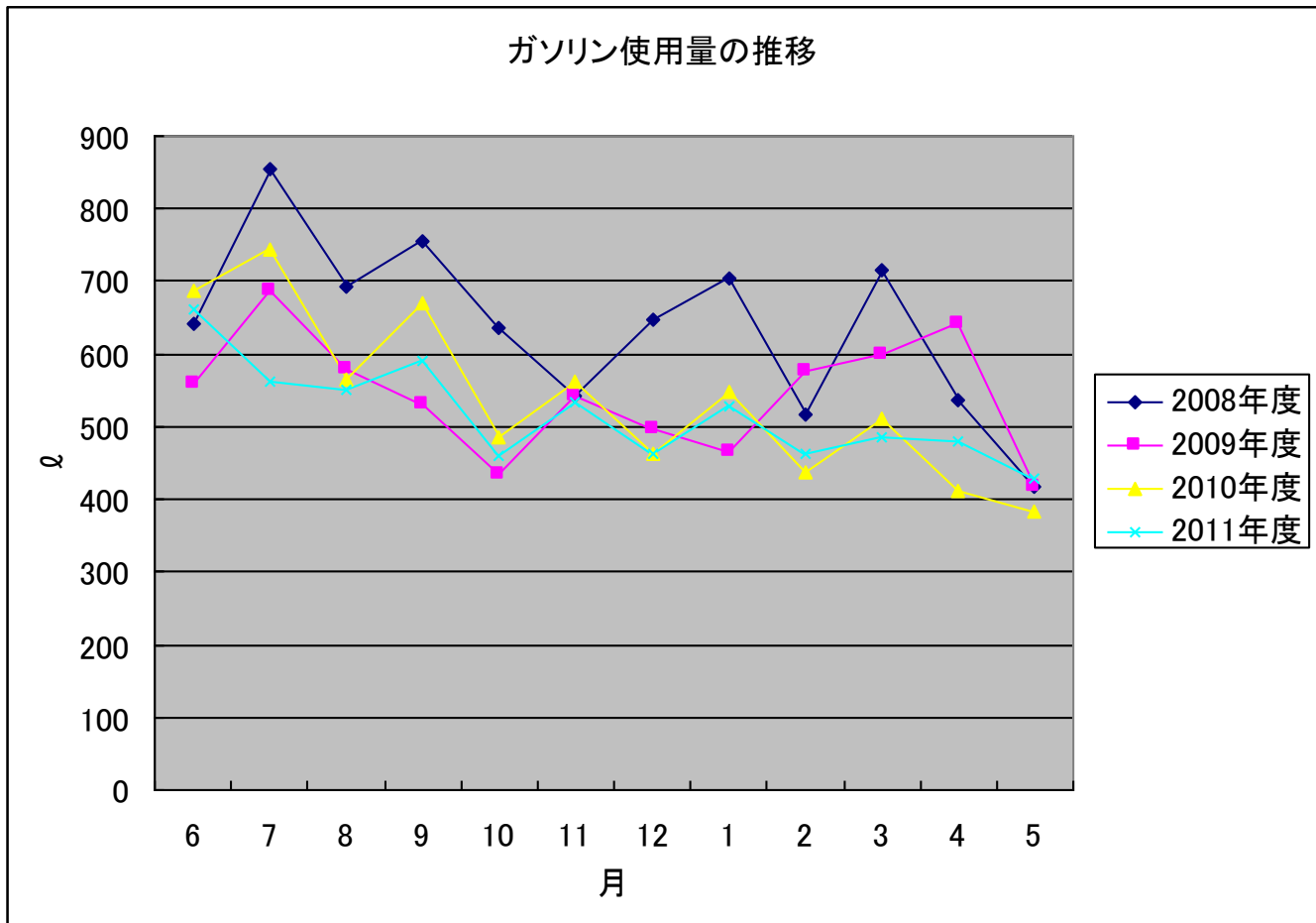


<ガソリン使用量の推移>

作成日：平成24年5月10日

月	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5
2008年度	641	855	693	755	637	542	648	705	518	715	537	418
2009年度	558	688	579	531	435	543	497	467	577	600	641	418
2010年度	687	745	565	671	486	561	464	549	438	511	412	383
2011年度	662	563	551	590	461	534	462	528	464	486	481	430

*2011年度の5月は予測数値

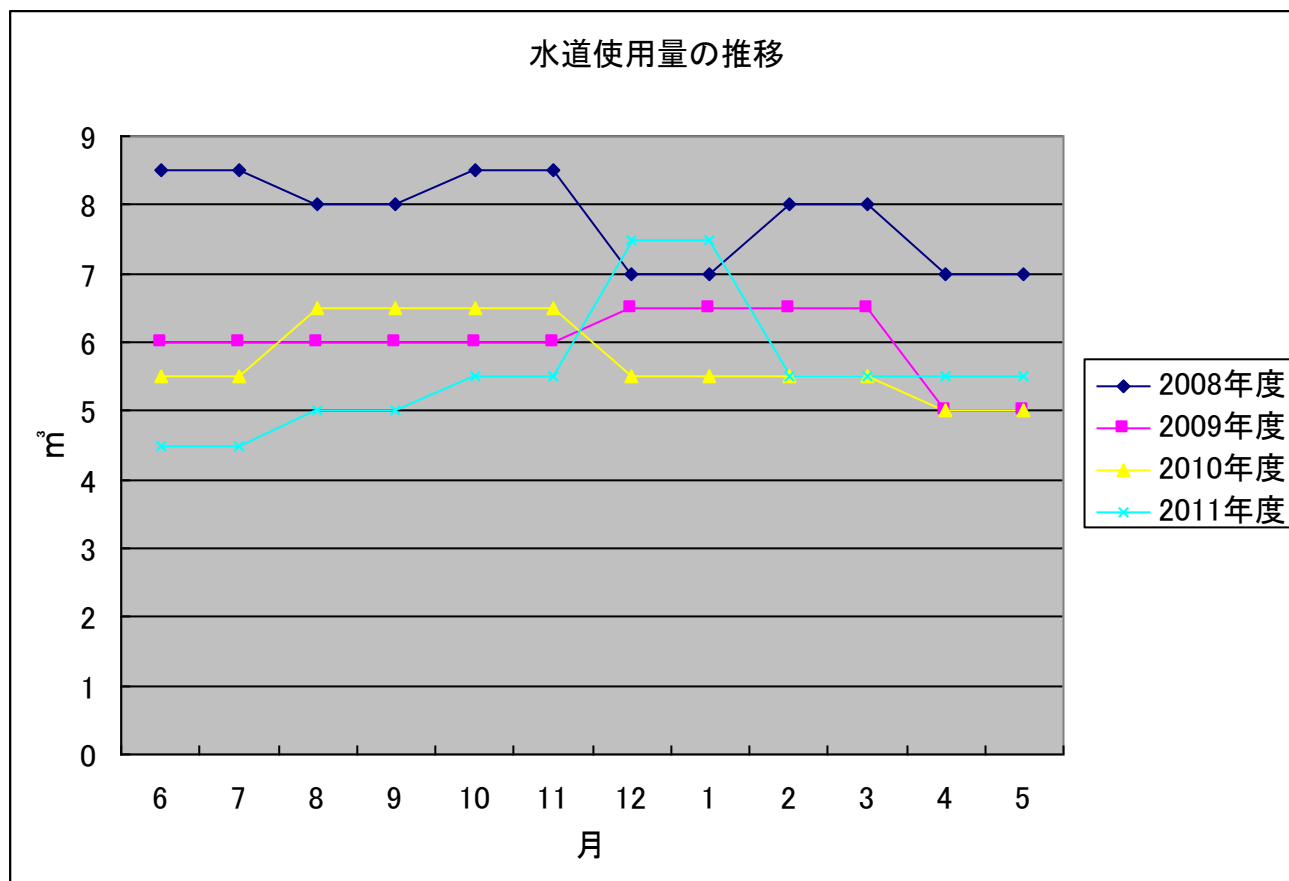


<水道使用量の推移>

作成日：平成24年5月10日

月	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5
2008年度	8.5	8.5	8	8	8.5	8.5	7	7	8	8	7	7
2009年度	6	6	6	6	6	6	6.5	6.5	6.5	6.5	5	5
2010年度	5.5	5.5	6.5	6.5	6.5	6.5	5.5	5.5	5.5	5.5	5	5
2011年度	4.5	4.5	5	5	5.5	5.5	7.5	7.5	5.5	5.5	5.5	5.5

*2011年度の4～5月は予測数値



7. 環境への保全活動の取組結果の評価

		取組後 (2011 年度)	
1	事業活動へのインプットに関する項目 小 計	123	/ 202
	1 省エネルギー	66	/ 110
	2 省資源	30	/ 44
	3 水の効率的利用及び日常的な節水	27	/ 48
	4 化学物質使用量の抑制及び管理	0	/ 0
2	事業活動からのアウトプットに関する項目 小 計	72	/ 90
	1 温室効果ガスの排出抑制、大気汚染等の防止	0	/ 8
	2 廃棄物等の排出抑制、リサイクル、適正処理	72	/ 82
	3 排水処理	0	/ 0
	4 その他生活環境に係る保全の取組等	0	/ 0
3	製品及びサービスに関する項目 小 計	70	/ 120
	1 グリーン購入(環境に配慮した物品等の購入、使用等)	11	/ 30
	2 製品及びサービスにおける環境配慮	59	/ 90
4	その他 小 計	26	/ 60
	1 生物多様性の保全と持続可能な利用のための取組	0	/ 0
	2 環境コミュニケーション及び社会貢献	26	/ 60
	3 施主・事業主における建築物の増改築、解体等にあつての環境配慮	0	/ 0
合 計		291	/ 472

8. 環境関連法規への違反、訴訟等の有無

7.1 環境関連法規の違反

当社に適用される環境関連法規等については、平成 24 年 5 月 1 日遵守状況点検の結果、問題ないことを確認した。

7.2 訴訟等

当社の環境管理に対する利害関係者からの訴訟又は関係当局からの指摘等は過去 3 年間ありません。

9. 環境配慮製品・サービスの提供

1. 東京スカイツリー祝賀イベント：2012年5月19日～20日

- ・ 当社の社長が属している、すみだ新製品開発プロジェクト（会長鈴木良昇）が5年の歳月をかけて開発した（人に優しく、町に優しい、環境を配慮した）電気自動車 HOKUSAI 3 台とミニ HOKUSAI を披露しパレードいたしました。大勢の見物者から大きな歓声が沸きました。

【スナップ写真】



10. 代表者による全体評価と見直し結果

エコアクション21に認証・登録され、今日まで社員全員が周知徹底して行動し、本年度も全ての項目で数値上で成果があがった。今後も内容を充実させ、環境意識の高さを継続していけるよう努めます。また特に本年度は、環境関連の情報収集に全員が積極的に取り組み 展示会・講習会に多数参加致しました。今後の環境に対するモラルがさらに向上し、発想の幅を広げることに繋がることを望み、さらにPlan, Do, Check, Actionを実行致します。